

「椋鳩十の作品を推薦する本の帯を作ろう」
大造じいさんとガン（東京書籍 5年）

令和2年 11月13日（金）
第5学年2組
男子16人 女子12人 計28人

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力

1 単元のデザイン

【本単元の目標】

<知識及び技能>描写をもとに比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができる。

【(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ク 表現の技法】

<思考力,判断力,表現力等>人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり,表現の効果を考えたりしたことをまとめることができる。

【読むこと エ 精査・解釈】

<学びに向かう力・人間性等>言葉がもつよさに気付くとともに,幅広く読書をし,国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする。

単元観	児童観											
小学校学習指導要領解説 国語編 C読むこと エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり,表現の効果を考えたりしたことをまとめることができる。 言語活動 イ 詩や物語,伝記などを読み,内容の説明をしたり,自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 本単元のねらい ・文章中に用いられている情景描写を比較することを通して,情景と人物の心情の変化を読み,その効果をとらえながら自分の考えをまとめることができる。	【国語科の学習に取り組む態度】 ○物語を基本4場面構成に分け,「変容」についての読解方法は理解している。 ○9月に学習した同系統の単元「注文の多い料理店」では,人物像や物語の全体像を想像したり表現の効果を考えたりし,見つけたおもしろさを解説することを学習している。 ○1学期に行った単元末テストの「読むこと」の平均点は,93.7点であり,学習内容は概ね定着できている。 ○クライマックス場面における登場人物の心情の変化を場面や文から関係づけて捉えることはできるようになってきている。 ●情景描写をとらえることについては経験不足もあり,十分な力は身に付いていない。 ●本や文章を読んで考えたことを自分の言葉でまとめることに課題がある。	○H30 標準学力調査(5年) 物語文(中山聖子「三人だけの山村留学」より) <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>正答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①中心人物の様子から心情を読み取る。</td> <td>84% <small>FU児童含む</small></td> </tr> <tr> <td>②対人物の様子から心情を読み取る。</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>③場面の内容をふまえ,適切な箇所に文章を挿入する。</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>④中心人物の心情の変容が分かる文を選択する。</td> <td>69%</td> </tr> </tbody> </table> ○中心人物の行動や会話文から心情を読み取ることは多くの児童ができています。 ●叙述から場面の状況を想像し,場面の移り変わりや心情の変化を想像する力に課題がある。	内容	正答率	①中心人物の様子から心情を読み取る。	84% <small>FU児童含む</small>	②対人物の様子から心情を読み取る。	76%	③場面の内容をふまえ,適切な箇所に文章を挿入する。	73%	④中心人物の心情の変容が分かる文を選択する。	69%
内容	正答率											
①中心人物の様子から心情を読み取る。	84% <small>FU児童含む</small>											
②対人物の様子から心情を読み取る。	76%											
③場面の内容をふまえ,適切な箇所に文章を挿入する。	73%											
④中心人物の心情の変容が分かる文を選択する。	69%											
本単元で育みたい資質・能力 言葉から様々なことを感じたり,感じたことを言葉にしたりすることを通じて言葉がもつよさを感じるとともに進んで読書しようとする態度。												



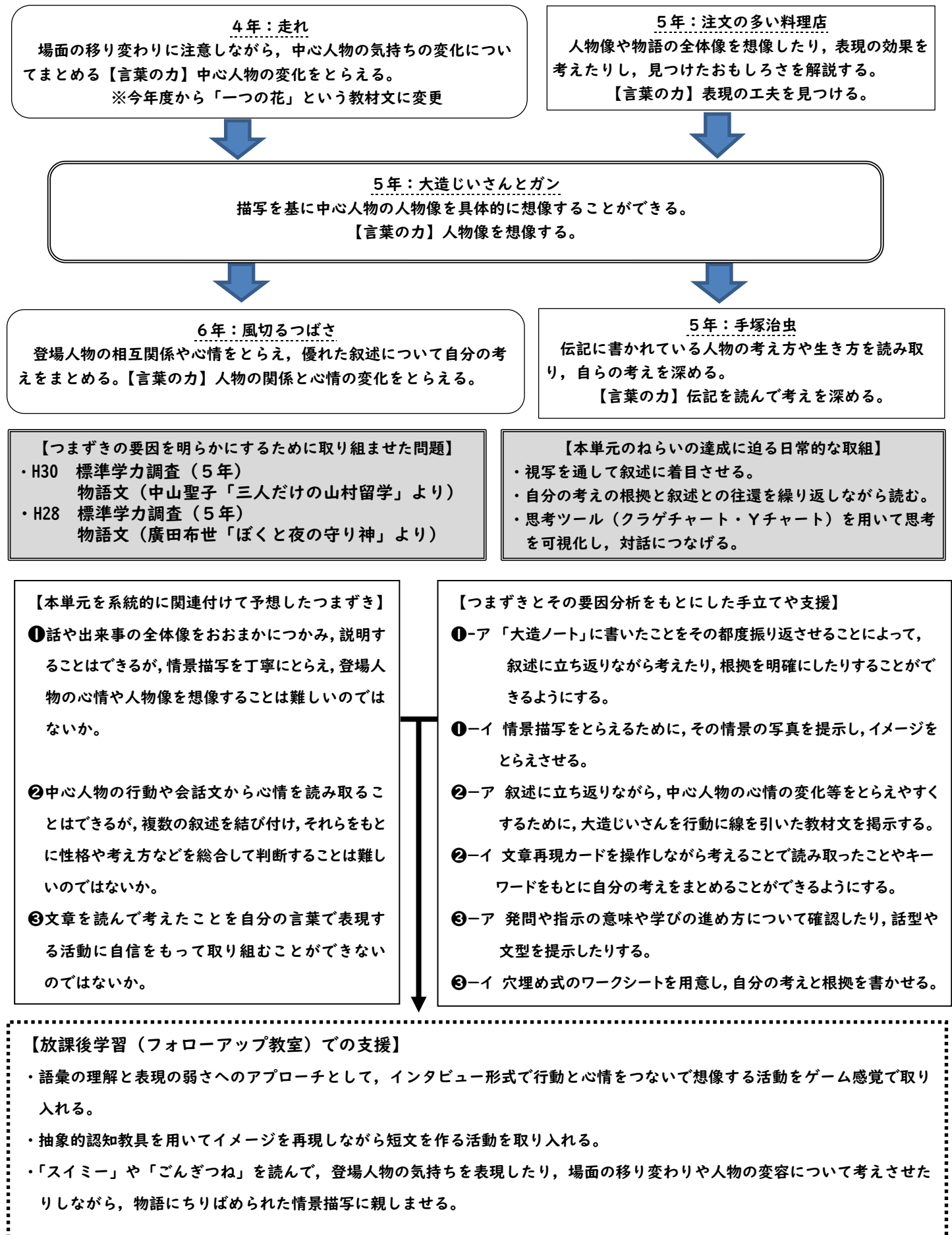
指導観(◎ICTについて)

- ・椋鳩十の作品の魅力を伝える本の帯をつくるために,心に残る描写を見つけるという単元を通した課題解決に毎時間の学習をつなげ,「学びの必要性」を感じながら主体的に学習を進められるようにする。
- ・本の帯には「最も強く心に響いたメッセージ」,「その根拠となる叙述(登場人物の言動や情景描写等)」,「自分の考え」を書くことを見通しとして単元のはじめに示す。司書教諭からの,「科学読み物を借りる人が多く,物語の本を借りる人が少ないので,物語のおもしろさやよさを紹介してほしい」という願いの実現に向けて,図書室に新しく椋鳩十コーナーを設け,作った本の帯を付けて推薦することを通して実生活における読書活動の問題の解決にもつなげさせる。
- ・大造じいさんの人物像に迫るために,残雪に対する大造じいさんの行動や会話,地の文に描かれている情景を丁寧に読み取らせる。なぜ,そのように読めるのかという根拠を人物の心情や性格,ものの見方や考え方など複数の事柄をあわせて考えさせ,他者に説明したり他者の考えを聞いたりすることを通して,自分の考えを再検討させる。
- ・既習事項を活用しながら,設定した言語活動である本の帯「最も強く心に響いたメッセージ」につながる叙述を見つける活動を取り入れる。優れた叙述を見つけるために身に付けた読み方を自分が選んだ本を読むときにも活用できるような場を設定し,本単元で学んだことを実生活で生かすことができるようにする。
- ◎電子黒板や書画カメラを効果的に活用し,自分の考えについて根拠を明確にしながらかりやすく表現させたり,友達の考えとの共通点や相違点をとらえさせたりする。

2 単元の系統性から見たつまずきの要因分析とその手立てについて

物語文「読み深める」系統

学びのつながり（読むこと：物語文）



3 単元の評価規準

国語科	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	主体的に学習に取り組む態度
	イ 詩や物語、伝記などを読み、内容の説明をしたり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。	①描写をもとに比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 (1)ク)	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしたことをまとめることができる。(C(1)エ)

4 教科の指導事項との関連

第5学年 国語科 (C 読むこと：エ 精査・解釈)

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年
エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像すること。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	エ 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えること。

5 指導と評価の計画 (国語 全9時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
単元前		課題の設定 ・総合的な学習の時間「11歳のハローワーク」 ・国語科「心に残った表現を帯にまとめよう」		
第一次	1 2	課題の設定 (国語科) ○学習のゴールイメージをもち、単元のめあてを設定するとともに学習の見通しを立てる。 ○「大造じいさんとガン」を読み、内容の大体をとらえる。 ○初発の感想を書き、読み合う。 ○学習課題を確認する。 大造じいさんが残雪に対する見方・考え方が大きく変わったのはいつか、考えたことをまとめよう。	・学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しがもてるようにする。 ・登場人物、主な出来事、結末などをとらえながら読むようにする。 ・場面の様子、登場人物の言動や様子、情景を表す語句に着目して読むように指導する。 ・必要に応じて辞書を活用するよう指示する。 ・心に残ったこと、疑問に思ったことなどについて書くように指示する。 ・初発の感想のうち、多かった感想や疑問、学級全体で話し合いたいことなどを適宜とりあげていくようにする。	[知識・技能①] ワークシート ・描写をもとに比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。
第二次	3 4 5 6 7	情報の収集、整理分析、まとめ・創造・表現 ○時・場・人物などをおさえ、文章全体の構成を捉える。 ○優れた描写を選び、理由と共に交流し、情景描写と行動描写について捉える。 ○大造じいさんの心情や見方・考え方の変容を比較しながら読む。(本時) ○大造じいさんの狩人としての生き方を考え、主題を捉える。	・物語の始まりで設定されている対立関係、敵対関係をしっかりとらえ、出来事とともに大造じいさんの心情が変化していくことを読み取らせる。 ・大造じいさんが残雪をとらえるために立てた計略とその結果について読み取らせる。 ・物語に出てくる情景描写にはだれのどのような心情が表れているのかを読み取らせる。 ・大造じいさんの残雪に対する心情や考え方の変化などをもとに大造じいさんの人物像を想像させる。	[思考・判断・表現①] 発言・ワークシート ・残雪と大造じいさんの行動や心情を関係付けながら大造じいさんが残雪に対してどのように見方・考え方が変わったかをまとめている。 [主体的に学習に取り組む態度①] ノート・観察 ・物語に用いられている描写に着目し、直接書かれていない大造じいさんの心情やその変容を読み取って自分の考えをまとめようとしている。
第三次	8 9	まとめ・創造・表現、振り返り ○物語の中で強く自分に語りかけてきたことや大造じいさんの残雪に対する見方・考え方が変容する場面などを帯にまとめる。	・これまでの学習を振り返り、物語を読んで理解したことに基づいて、感じたことや考えたことをまとめるよう指示する。	[思考・判断・表現①] 本の帯 ・最も強く心に響くメッセージを意識させる情景描写や登場人物の言動を取り上げ、本の帯にまとめている。
単元後		まとめ・創造・表現 ・総合的な学習の時間「11歳のハローワーク」 大造じいさんと総合的な学習の時間に出会った地域の職人さんの生き方を重ねて考え、自分の生き方に取り入れたいことを思考し、「15年後の未来予想図(新聞)」にまとめる。		

6 本時の目標

叙述から想像を広げて大造じいさんの心情や見方・考え方の変容をつかみ、自分の考えを根拠を明確にしながら説明することができる。
(思考力・判断力・表現力等 読むことC(1)エ)

7 本時の展開

	学習活動（時間）	◇指導上の留意点 ◆主体的な学びを促す教師の手立て Point FU対象児童への教師の手立て	評価規準 (評価方法)
課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ	1 前時の学習をふり返る。(3分) 2 本時のめあてをつかむ。(2分) 3 全体で話し合う。(15分) 4 自分の考えを整理する。(5分) 5 大造じいさんの人物像について、自分の考えをまとめる。(15分)	◇これまでの場面の大造じいさんの心情を掲示物で確認し、本時の心情の変化を捉える手立てとする。 Point ②大造じいさんの心情の変化について小見出しにまとめることができる。 ◇事前に書いた自分の考えと根拠となる叙述を確認し、選んだ理由を交流させる。 ◆児童が考えた質問や感想を交流させ、必要に応じてメモを取らせながら読みを深めさせる。 ◆自分が選んでいない文についても心情の変化を考えることで多角的な見方をさせる。 Point ①-ア 「大造ノート」に書いたことをその都度振り返らせることによって、叙述に立ち返りながら考えたり、根拠を明確にしたりすることができるようにする。 ◇全体交流の内容を整理しながら、大造じいさんの心情が大きく変化したことがわかる文章について個人で検討させる。 ◇児童の思考の変容を明確にさせる。 Point ②-ア 話し合いの内容を振り返らせ、一緒に確認しながら自分の考えを整理できるようにする。 ◇これまでの考えを整理したクラゲチャートをもとに大造じいさんの人物像を書かせ、なぜそのように表現したか理由も書かせる。 ◆理由を問うことで叙述をもとに考えを形成させる。 Point ③-イ 文章再現カードを操作しながら考えることで読み取ったことやキーワードをもとに自分の考えをまとめることができるようにする。 ③ 「残雪の堂々とした姿に尊敬の気持ちをもった大造じいさん」 大造じいさんは、仲間を助ける残雪を尊敬しています。それは、「大造じいさんは、強く心を打たれて・・・。」と書いてあるからです。大造じいさんはこれまでは残雪をいまいましい鳥だと思っていたけど、この場面での残雪の姿を見て気持ちが変わっています。大造じいさんは鳥の姿に心を打たれ、これまでの強い気持ちを変えることができる人だと思っています。 Point ③-ア 自信をもって自分の考えを伝えることができるよう、話型や文型を提示する。	【思・判・表】 ・叙述を根拠として大造じいさんの人物像を表現することができる。 (発言・ワークシート)
振り返り	6 本時の学習をふり返る。(5分)	◇一人一人が本時の学びを価値付け、次時の学びにつなぐことができるように振り返りの視点を提示し、ノートに書かせる。 【振り返りの視点】 ○交流を通して変わった自分の考え ○友達の考えのよさや自分の考えに生かしたい表現	